

児童ひとりで何役もこなす美化活動が地域全体の意識を変える

文部科学大臣賞 広島県 福山市立服部小学校

福山市北部に位置し、ワサビやセリが自生する清流、服部川が流れ、ホタルの里としても知られる豊かな自然に囲まれた同校。地域の特性をいかした環境保全活動が盛んで、とりわけ活発なのが、5年生が中心となって川沿いに散乱しているペットボトルや空き缶など資源ごみを分別回収する「服部川クリーン大作戦」だ。児童の発案で平成16年に開始、今や住民や団体と協働で実施する一大イベントになっている。約2か月前から入念に準備、手づくりチラシで地域にPR、清掃当日も司会進行から班の割り振り、終わりのあいさつまですべて児童が考え行動する。また、児童が各家庭を回って空き缶などを回収するリサイクル活動も、昭和50年から続く他校の模範となる取り組みだ。

さらに、農薬や生活排水などの影響でホタルが減少したのが契機となり、服部川の生物・水質調査をはじめ、ホタルの飛翔数調査や飼育、幼虫の放流活動などを積極的に行う。その一つ、ホタル学習では、地域団体「服部の自然を守る会」の協力を得ながら1年間を通して取り組み、その成果を地域の行事「ホタル祭り」で児童が発表。毎年、市内外から多くの来場者でにぎわうホタル祭りは、ホタルが飛び交う豊かな地域環境をアピールする格好の機会になっている。

川の水質調査などを通じて汚れた水を川に流さない大切さを痛感した児童は、洗剤を使わずに汚れが落ちるアクリルたわしづくりに励む。住民や来校者に配りながら広く環境保全を訴えている。服部の自然を守る会の鴨田弘道会長は、「**地域を担う子どもたちが服部川の清掃やホタルの保護活動に取り組む姿は、着実に大人の意識変革につながっています**」と手ごたえを実感。

全校児童数47名の小規模校ならではの強みを生かし、児童一人ひとりが何役もこなす生活に根付いた美化活動が、地域全体に環境意識向上と活力をもたらしている。

広島県福山市立服部（はっとり）小学校

学校長：田中 弘記

生徒数：47名(2015年11月末現在)

住所：広島県福山市駅家町助元 70

電話：084-978-0121

アクセス：「駅家」駅よりタクシーで約10分



写真上：服部川クリーン大作戦で空き缶などを回収、写真上から2番目：環境美化を呼びかけるポスター掲示、写真上から3番目：ホタルをPRする児童、写真下：伝統のアクリルたわしづくりに励む児童たち